

108万株売り出し

不動産関連ソフトウェア開発の日本情報クリエイイト（都城市、辻村都雄社長）は、創業者の米津健一代表取締役会長が所有する普通株108万7千株を売り出す。申込期間は2、3日の2日間。流通株式比率を上昇させて株主層を拡大、さらなる事業成長を目指すのが狙い。

日本情報クリエイイト きょう、あす

円。より多くの株式を流通させるため算定基準日（9月1日、794円）と比較して4・03%ディスカウントして公募で売り出す。これにより流通株式比率は約27%から約35%に上昇する。応募が多かった場合は16万3千株を上限にしたオーバーアロットメント方式による売り出しも行う。米津会長は引き続き会

長職を継続し、将来的にはプライム市場への変更も視野に、不動産関連データを活用した新規事業への投資や企業の合併・買収（M&A）などを通じて事業成長を目指す。

流通比率上げ株主層拡大へ

（伊佐賢太郎）